


⑥【大国地域振興協議会】  
発表テーマ：「まめなかや畑の世代間交流」

**～大国地域振興協議会～**

田園地帯から中山間地域まで幅広い形態を有する地域。  
地域内には町立病院(11科198床)、誘致企業(5社)がある。

○大国地域振興協議会  
事務所: おおくに田園スクエア  
設立: 平成19年6月24日

【集落数: 13】  
人口 1,412名  
世帯数 431世帯  
高齢化率 31.2%  
(平成27年11月末現在)



《 質 疑 回 答 一 覧 》

No.	質疑	回答
1	まめなかや畑への参加者の増加は地域の絆のアップにつながると思いますが、増加の方策はどうしますか？	現状を割らない位の参加者で、参加者が充足感を感じればよいのではないかと。事業はこれだけではないので住民が選択して事業に参加していただければ良いと感じます。
2	保護者世代の方はこの事業をどのように評価しておられるのでしょうか？	参加状況通りだと思います。
3	まめなかや畑以外にどのような事業を手掛けていますか？	ため池点検や、ハザードマップによる防災シュミレーション、消防機器点検、人権学習、合同いきいきサロン、地域守り隊による高齢者の見守りと支援、また山遊びや、しめ縄・餅つき大会等多岐に亘っています。
4	高齢化率が上がっているが、協議会としてどのように考えておられますか？	現実を受け止めている。20年先には年少人口15%生産人口45%、高齢人口40%と想定される。その中で住民同士がどう連携するのか協議会、集落とも考えておくことが必要
5	地元企業との交流事業はありますか？	大国まつり時に会社のPRコーナーを設置。NOKまつりには模擬店を出店。広報誌の配布も実施している。
6	他の協議会事業に参画とありますが、どのような事業か計画がありますか？またどんな事業を手掛けている協議会が良いですか？他の協議会との関係プレーは有効と考えますが。	世代間交流、防災事業等共通あるいは類似の事業を手掛けているところと。協議会も徐々に熟成してきており有効と思われる事業は連携し実施することも必要と考える。
7	参加者拡大の方策はされていますか？もともと少ない児童数でこれ以上の拡大は無理でしょうか？特に気をつけられた事は？	対象となる子どもはスポ少、塾等あり全員が来るに越したことはないが、参加した方が何かを感じてもらえればそれで良いのでは。

《 助 言 一 覧 》

No.	助言・意見
1	伝統文化と繋げた事業をすると高齢者と子どもの交流が図れる。
2	保護者世代が少ないのは一面では地域を信頼して子どもを参加させているとも思える。保護者世代は別な形での参加でも良いのでは？
3	保護者世代にグループを結成して参加を求めているはいかがですか？
4	参加者の固定化を防ぐ意味でも他の協議会のイベントに参加というのは良いアイデアだと思います。他の協議会と連携してイベントの共同化を図ることは活動の見直しをし、スクラップ&ビルドを図る上で有用な考え方と思いました。
5	おじいさん、おばあさんが地域の子育てを担うと割り切って、自信を持ってやりましょう。父母もいずれおじいさん、おばあさんとなってくれることを願って。
6	父ちゃん、母ちゃんはPTAがあるので、無理にこの取組に入れようとしなくても良いのでは？
7	親世代が今、大国地域に何を求めているか知る必要があるかもしれませんね。
8	まめなかや畑の事業推進の課題である保護者世代の参画について、事業の実施日、時間帯などの変更を柔軟に考えられており、是非実行していただきたいと思いました。
9	労働者世代の参加が少ないのはある程度仕方がないと感じます。孫世代と祖父母世代が交流しているだけでも素晴らしいと思います。
10	平日の夜だと例えばスポーツ大会などで小中高生と大人で交流が図れるかも？
11	世代間交流、中学校生徒とも出来るといいのでは。 (恐らくまめなかや事業に中学生が参加出来れば更に良いとの意味か？)
12	子どもの対象をもっと小さな子に絞ってみれば親子で一緒に参加されると思います。
13	父ちゃん、母ちゃんが主体的に企画すれば参加されるようになると思います。
14	農業だけではなく、自然環境や、歴史、文化に触れる活動にもウイングを拡大すべきだと思います。
15	子ども、高齢者、女性、三つの活用が重要
16	他の振興区との協力体制は是非とも必要と考えております。
17	課題はどこでも同じ、保護者世代の参加が少ない。他地区との交流が不可欠と肝に銘じた。
18	世代間交流良いですね。大人になってから思い出すんですよ。ああしてもらったとか、こうしてもらったとか、良かったなって。